

けんちく茨城

ARCHITECTURE IBARAKI 2019.2 VOL.99



一般社団法人

茨城県建築士会

<http://i-shikai.com>

けんちく茨城

2019.2.5 第99号

page	目次
01	会長年頭あいさつ 活力ある会を目指して
02	報告 平成31年新春賀詞交歓会
06	特集 水戸市長インタビュー 持続可能な街づくり
08	建築作品紹介 水戸市役所 新庁舎
10	先輩会員を訪ねて
12	ようこそフレッシュマン／Welcome Freshman!!
14	鹿島支部 鹿島支部のご紹介
14	ひたちなか支部 ひたちなか市産業交流フェアに参加して
15	県央支部 第38回青空市参加に寄せて
16	高萩支部 「名所めぐり」
17	北相馬支部 「とりで産業まつり」に参加して
18	筑波支部 耐震診断・改修の啓発活動
20	総務・企画委員会 さいたま大会に参加 建設フェスタ2018 大子の古民家修復へ支援金寄贈
22	会員委員会 日帰り見学会報告
23	情報・広報委員会 水戸市新庁舎見学会 東町体育館完成見学会 木造住宅耐震診断士養成講習会
26	青年委員会 グリーンフェスティバル2018 パスタブリッジコンテストを終えて
27	女性委員会 わくわくセミナー 「ブロック塀・基準法改正」 「内装セミナー」 ラブアークセミナー 「Power Point中級編」
29	活動報告 「いばらき低炭素社会実現研究会」
題字	大井川 和彦 茨城県知事
表紙	水戸市役所 新庁舎 設計監理 久米・柴建築設計共同企業体
発行	平成31年2月5日
次回	平成31年6月5日予定
部数	2,500部
発行	一般社団法人 茨城県建築士会 会長 柴 和伸 〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2F TEL.029-305-0329 FAX.029-305-0330 E-mail kyy05413@nifty.com
編集	情報・広報委員会 市毛 純一 川又 晴彦 児玉 欽司 成田 孝成 大山 早嗣 武居 公江 浅野 祐一郎 石黒 幸喜 塙 万治 稲野 辺 浩 軽部 守彦 沢畑 一成 山田 一博 中村 正明 谷島 正憲
デザイン・印刷	株式会社 高野高速印刷



会長年頭あいさつ 活力ある会をめざして

一般社団法人 茨城県建築士会
会長 柴 和伸

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

改正建築士法が12月8日成立しました。建築士の高齢化、受験者数の減少を背景に、これまでの受験要件であった「実務経験」を「免許登録要件」に変更、試験前に要求されていた実務経験を試験の前後を問わず免許登録までに満たしておけば良いということです。これにより卒業後すぐに受験ができるなど受験機会の早期化が図られます。この新しい制度での試験は20年度にも始まる見通しと伺っております。

一方、建築業界は「人材確保」が大きな課題となっております。特に技術者と職人不足が深刻です。私は、茨城県建築関連団体交流会を組織し、人材不足や処遇改善など共通する課題について、互いに知恵を出し合い議論を重ねてまいりましたが、なかなか解決策を見いだせない状況にあります。国では、働き方改革、外国人技能実習制度の見直しなど人材不足に対応した施策を講じているところですが、関連団体とともに課題に対して正面から向き合い、建築業界の将来をみんなで考えていきたいと思っております。

〈事業活動〉

建築士は、良質な建築環境を発注者や社会に提供する義務があります。そのためにも日常の設計・監理・施工などの面から絶えず自己研鑽に励み社会の要請に的確に答えていく必要があります。

そのため、今年も法定講習はもとより建築士が備えておくべき知識、技術向上に資するための研修・講習会をできるだけ多く実施し建築士の資質

向上に努めてまいります。

また、本会は、建築士のための情報発信の拠点として、「ホームページによる情報提供」、「支部の各種活動」、「委員会活動」などを通して社会貢献するとともに、会員に対する各種親睦事業にも取り組んでまいります。

一方、空き家が大きな社会問題になっておりますが、今年も市町村が設置する「空き家等対策協議会」、「空き家相談会」などに支部と連携した支援活動を行うとともに、空き家活用を推進するためのリフォームやリノベーションについても関わっていきたいと考えております。

さらに、これまで講習会を通して既存住宅状況調査技術者を育成してまいりましたが、今後、関係団体との連携を深め、調査業務が拡大するよう努めてまいります。

〈会員増強〉

高齢退会者が増加する一方、若年層入会が進まず、年々、会員数が減少かつ会員の高齢化が進んでいる状況にあります。研修・講習会参加による自己研鑽、支部における人脈づくり、地域貢献活動への参加による喜びなど、ネット社会では得られない多くのメリットがあると考えています。

本会は、支部の活性化によって支えられる団体です。支部役員をはじめ会員の皆様お一人お一人が本会の魅力や入会して得られるメリットなどを紹介いただき、一人でも多くの入会者を発掘していただきますよう心からお願い申し上げます。

最後に、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

平成31年

新春賀詞交歓会

平成31年1月18日(金)



大井川 和彦
茨城県知事



岡田 広
参議院議員



田所 嘉徳
衆議院議員
本会顧問



上月 良祐
参議院議員



高橋 靖
水戸市長
本会顧問



伊沢 勝徳
茨城県議会議員
本会顧問



島田 幸三
茨城県議会議員
本会顧問



柴 和伸
本会会長



年の初めの恒例行事となった第17回新春賀詞交歓会が1月18日(金)水戸プラザホテルにおいて開催された。今回は、来賓、会員・賛助会を合わせて332名が参加した。

武村副会長の開会のことばの後、主催者代表で柴会長から挨拶があり、「昨年災害の多い年だった。建築設計や施工を通して人命を尊重し、経済基盤を積み上げる一員として県民の安心安全な暮らしを構築できる業界にしていきたい。

今年は茨城国体などもある。会員や行政、関連業界と協力しながら引き続き社会基盤の整備に努力していきたい。



また、地方経済は依然として厳しい状況が続いてはいるが、会員の皆様とともに、この厳しい状況を乗り越って行きたい。」など新しい年に向けた抱負を述べられた。

来賓挨拶では、大井川知事、高橋水戸市長、岡田参議院議員、田所衆議院議員、上月参議院議員、伊沢県議、島田県議からご祝辞を頂いた。

続いて、柴会長から県表彰者の(株)清和工業社長小川三郎様への記念品贈呈と、「いばらき地域適合型木造住宅提案コンペ」の表彰式が行われ、各賞の受賞者が県木連生井会長より表彰された。

その後、茨城県建設業協会石津会長の乾杯ご発

声により祝宴に入り、例年のことながら支部の枠を超え、また、来賓及び賛助会員の方々との交流は大変有意義なものとなった。

また、祝宴でのメインイベントである抽選会には、会員及び賛助会より多くの景品のご提供を頂き、最後に(株)フジクリーン茨城様からご提供された43型4K液晶テレビが当たるなど大いに盛り上がった。祝宴は盛況のうちに進行し、市毛副会長の中締めにより賀詞交歓会は終了した。

亥年は「亥固まる」という格言があります。会員の皆様にとって新しいステージへ進む年であることをお祈り申し上げます。

平成31年 第17回新春賀詞交歓会参加者名簿

※当日出席された方のお名前を掲載しています

ご来賓

茨城県知事	大井川和彦	(公社)茨城県宅地建物取引業協会会長	張替 武敏
参議院議員	岡田 広	茨城県塗装工業組合理事長	佐藤 雅彦
衆議院議員	田所 嘉徳	茨城県鉄筋業協同組合理事長	大平 時彦
参議院議員	上月 良祐	茨城県鐵構工業協同組合理事	萩原 文雄
水戸市長	高橋 靖	茨城県板金工業組合副理事長	知久 貴
茨城県議会議員	白田 信夫	(一社)茨城県貯水槽維持管理協会会長	稲葉 貞幸
茨城県議会議員	伊沢 勝徳	茨城県管工事業協同組合連合会会長	石田 賢司
茨城県議会議員	島田 幸三	(一社)茨城県消防設備協会副会長	入江 元
茨城県土木部都市局長	伊藤 高	茨城県行政書士会会長	國井 豊
茨城県土木部技監兼都市局建築指導課長	海老沢和雄	茨城県型枠事業協同組合理事長	佐々木広行
茨城県土木部営繕課長	小坪 達也	茨城県解体工事業協同組合副理事長	沼田 元良
茨城県土木部都市局住宅課長	足立 信幸	茨城県左官工業連合会会長	根子 清
水戸市都市計画部建築指導課長	井原 孝志	茨城県石材業協同組合連合会会長	長谷川正一
(一財)茨城県建築センター理事長	江原 秀明	茨城県電気工事業工業組合理事長	浅野 晃司
(一社)茨城県建築士事務所協会会長	舟幡 健	茨城県防水工事業連合会会長	神原 陽一
(一社)茨城県設備設計事務所協会会長	菊地 繁	茨城ディスプレイ協同組合代表理事	伊藤 三男
(一社)茨城県建設業協会会長	石津 健光	茨城新聞社水戸支局長	二方 善郎
(公社)茨城県林業協会専務理事	大森富美男	日本工業経済新聞社取締役	小泉 孝司
茨城県木材協同組合連合会会長	生井 邦彦	日本建設新聞社水戸総局長	井上 哲郎
(一社)茨城県電設業協会副会長	園部 昌之	(一社)茨城県建築士会相談役	滑川 浩一
(一社)茨城県空調衛生工事業協会会長	小川 三郎	(一社)茨城県建築士会相談役	関根 慎一
(公社)茨城県水質保全協会理事長	成田 浩明	(一社)茨城県建築士会相談役	松山 恒男

(敬称略、順不同)

正会員

北茨城支部	篠原 武司	〃	高橋 文男	〃	金澤 重雄	〃	根本 周作
		〃	中園 薫	〃	樽田 久恵	〃	根本洋一朗
久慈支部	市川三和子	〃	細田 吉貞	〃	工藤 恵	〃	塙 万治
〃	藤井 耕市			〃	久野 正行	〃	塙 秀之
		県央支部	浅野祐一郎	〃	小坪 真司	〃	早川 敏史
高萩支部	佐藤 新一	〃	安達 芳男	〃	小林 要	〃	松下 理
〃	鈴木 清壽	〃	荒川 芳和	〃	小室 晶	〃	丸山 好史
〃	棚谷 哲夫	〃	飯島 隆	〃	斎藤 章	〃	宮本 久
〃	豆澤 時雄	〃	池崎 栄二	〃	齊藤 栄治	〃	守田 義広
		〃	井坂 光宏	〃	酒寄 光一	〃	柳下 文江
日立支部	石黒 幸喜	〃	石井 邦明	〃	佐藤 哲夫	〃	山田 一博
〃	梅原 郁夫	〃	石川 啓司	〃	佐藤 朋子	〃	横須賀 孝
〃	菊池 積	〃	石黒 洋子	〃	椎名 康一	〃	横須賀満夫
〃	清水 忠	〃	石田 一裕	〃	篠根 玲子	〃	吉田 進
〃	清水 雅史	〃	泉 安幸	〃	柴 和伸	〃	吉田 雄一
〃	坪和 昭男	〃	市毛 純一	〃	杉本 孝一	〃	和田 淳一
〃	富田 義光	〃	稲沼 修二	〃	鈴木壮一郎	〃	渡辺 章夫
〃	三澤 俊介	〃	井上 知江	〃	関根 貴雄	〃	渡辺 信一
		〃	宇留鷺博一	〃	瀬谷 和人		
ひたちなか支部	大内 賢一	〃	大鐘 孝弘	〃	高槻 一雄	県庁支部	打越 信久
〃	上久保博隆	〃	大山 早嗣	〃	田中 健一	〃	小笠原正裕
〃	川又 晴彦	〃	岡崎 和裕	〃	田中 正己	〃	野澤 謙次
〃	清水 洋一	〃	小川 憲一	〃	富田 正美	〃	増澤 敬
〃	山田 博則	〃	小川 雅良	〃	中崎 妙子		
〃	浜中 本子	〃	小貫 弘巳	〃	中山 眞矢	JR水戸支部	岡野 武仁
		〃	小沼 隆志	〃	沼田 弘次	〃	本田 克司
鹿島支部	梶山 光彦	〃	大槻 薫	〃	根本 勝義	〃	諸川 博幸

行方支部	石井 誠之	〃	渡辺 清一	〃	立堀 孔一	〃	潮田 充
〃	金子 雅代	下妻支部	飯村 純男	〃	田中 一博	〃	大塚 益弘
〃	橋本 照雄	〃	江面 松男	〃	西木 照久	〃	河野 正博
〃	本澤 幸一	〃	広瀬 元二	〃	北條 豊之	〃	斉藤 保弘
〃	六笠 勝也	常総支部	岡田 一夫	石岡支部	海老原隆士	〃	長瀬 行弘
〃	谷田川治彦	〃	栗原 力男	〃	貝塚 勇	土浦支部	堀江 功
銚田支部	葛西 栄一	〃	杉田 次夫	〃	菊地 直衛	〃	青山 立美
〃	鎌田富士夫	〃	田島 栄治	〃	久保田吉文	〃	赤木香菜子
〃	久米 恒雄	〃	松崎マサ子	〃	小暮 真一	〃	赤木 裕子
〃	田崎 重司	筑西支部	大和田信雄	〃	島田 哲	〃	石坂 健一
古河さしま支部	小沼 富司	〃	上形 肇	〃	武居 公江	〃	市村 庄一
〃	小林 澄夫	〃	小島 時夫	〃	三輪 清司	〃	大野 雅明
〃	長塚 威	〃	柴 博美	稲敷支部	池田 恵子	〃	小神野 栄
〃	根本 和也	〃	中山 和朗	〃	児玉 欽司	〃	小川 剛樹
〃	長谷川正幸	〃	谷島 正憲	〃	新田 孝司	〃	櫻井 成郎
桜川支部	飯島 一則	坂東支部	大久保正男	北相馬支部	石田 博英	〃	鈴木 啓之
〃	飯島 洋省	〃	篠塚 康延	〃	小磯 俊明	〃	須藤 隆
〃	石島 隆	〃	滝本 武	〃	土井 金哉	〃	関根 美宏
〃	岩永 幸呼	〃	名越 伝	筑波支部	相澤 晴夫	〃	塚本 美明
〃	鈴木 孝和	〃	宮部 誠	〃	青木 孝二	〃	永井 昭夫
〃	武村 実	〃	森 均	〃	市村 正義	〃	中村真紀子
〃	比企 正信	結城支部	小貫 廣利	〃	岩永 至功	〃	増山 栄
〃	藤田 昭一	〃	小谷野栄次	〃	潮田 浩	竜ヶ崎支部	家富 秀一
〃	古橋 明						

賛助会員

アオキ(株)	青木 雄司	〃	安田 宣弘	日本ERI(株)つくば支店	中村 浩
暁飯島工業(株)	平塚 亨	(株)建築資料研究社/日建学院	柿本 和彦	(株)日立ビルシステム	尾崎 貴規
(株)アルク	高羽 紀幸	〃	高橋 賢司	〃	加藤 貴浩
(株)安心確認検査機構	小神野 修	〃	宮部 克也	〃	山口 史子
〃	舞木 善郎	(株)建友	根本 学	(株)フジクリーン茨城	大竹 伸一
(株)伊勢基本社 水戸プラザホテル	綿引 章博	光商建材(株)	島田 誠	〃	大竹 昌士
(一財)茨城県建築センター	阿部 優	コスモ総合建設(株)	池田 大輔	〃	寺門 直人
〃	阿部 義博	〃	川畑 清作	フジクリーン工業(株)	川瀬 幸夫
〃	遠藤 勝重	〃	榊 貴人	〃	前田幹太郎
〃	大畠 勝	〃	菅原 秋彦	不二サッシ(株)	森本 浩之
〃	小沼 紀男	三英物産(株)	石塚 義章	(株)フジタビジネスマシンス	藤田 卓也
(一財)茨城県住宅管理センター	鈴木 勇	(有)三企地盤	小沼 功	〃	宮部 正栄
〃	鈴木 安行	〃	矢作 慎一	北海道パーケット工業(株)	高根 満男
〃	高野 克美	三和シャッター工業(株)	関 和宏	〃	堀井 亮平
〃	山田 茂	〃	中井 充幸	前田製管(株)茨城支店	芦田 輝幸
茨城県板金工業組合	鴻野 秀雄	ジャパンパイル(株)	藤原 浩宣	〃	今井 弘
〃	知久 貴	(株)新栄電気通信工業	庄司 泰世	三谷セキサン(株)	小山 秀人
茨城県林業種苗協同組合	大越 靖史	(株)新日東	小澤 啓一	ミナト防災通信工業(株)	仙北谷正明
植田防水工業(株)	栗原 信	〃	鈴木 紀英	〃	若林 純也
(株)エスアールエスディービー社	小澤 康二	清和工業(株)	岡村 誠	(株)弓削コンクリート工業所	弓削 裕史
〃	須藤 崇人	大建工業(株)	栗原 隆二	横信建材工業(株)	横須賀 靖
〃	須藤 裕市	〃	山縣 浩久	(株)LIXIL茨城支店	安芸 哲雄
(株)角藤 水戸支店	小林 聡	(株)高野高速印刷	森田 隆一	〃	大林 正明
〃	小林 隆	高橋商事(株)	高橋 勲	〃	高橋 優
〃	村田 弘就	タニコー(株)	絹川 晃弘	YKKAP(株)	伊藤万喜男
株木建設(株)	黒江 俊郎	〃	小坪 拓博	〃	大塚 愛美
〃	坂本 潤	(株)千代田興業	坂井 康秀	〃	中武 剛
〃	村島 俊太	TOTO(株)	木本 孝一	和知商事(株)	石川 弘幸
(株)菊地設備設計事務所	横山 努	ナブコシステム(株)	大木翔太郎	〃	和知 忠道
(株)菊正塗装店	鈴木 章	〃	川松 滋	〃	和知 紀良
クレハ錦建設(株)	星 建	(株)奈良屋	横山 昌弘		

特 集

持続可能な まちづくり

水戸市長 高橋 靖

2018年11月に出版された高橋市長の著書。市民とつくる公共政策と題し、行財政運営・都市構造・子育て・介護・医療の各分野からなるまちづくりについて語る。



茨城県建築士会の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平成最後の年となる本年1月4日に、東日本大震災からの復興のシンボルとなる市役所新庁舎が全体オープンいたしました。新たな庁舎は、総合防災の拠点として、大規模災害発生時においても機能・役割が継続できるよう、免震構造の採用、ライフラインの自立化を図るとともに、緊急車両導線を整備するなど、災害に強く安全性の高い庁舎といたしました。また、市民サービスの拠点として、ユニバーサルデザインの導入やバリアフリー法の認定基準を満たすバリアフリー化に取り組み、全ての人にやさしい庁舎、利用しやすく質の高いサービスを提供できる庁舎といたしました。さらには、市民と行政とが交流しながら、様々な活動を行う空間として多目的スペースや市民協働会議室等を設置するなど、市民に開かれた親しみやすい庁舎といたしました。

市役所新庁舎に続き、東町運動公園体育館も本年4月には完成するほか、新市民会館や新ごみ処理施設も一定の進捗が図られている中、これからの行政運営やまちづくりを進めていく上で大変重要なキーワードになるのは「持続可能」とであると改めて感じています。人口減少や少子・高齢化の進行をはじめ、時代や地域のニーズへの対応など、市町村を取り巻く社会経済状況は多様に変化しています。特に、深刻化する人口減少、超高齢社会に向けては、喫緊の課題として、国を中心に全国の自治体において様々な取組が進められているところです。

しかし、国の総人口は6年連続の減少となり、年間出生数についても、統計開始以来、初めて100万人

たかはし・やすし 茨城県立緑岡高校卒、日本大学法学部新聞学科卒。明治大学大学院政治経済学研究科修士課程修了/衆議院議員鳩山邦夫氏秘書、水戸市議会議員3期、茨城県議会議員2期を務め、水戸市長に。2010年より当会顧問に就任。

を割り込むなど、効果の発現には、なお時間を要するものと思われます。人口減少は、労働力やコミュニティ力の低下、消費需要の縮小など、行政運営を進めていく上で、大きな影響を及ぼす見過ごすことのできない大きな問題であり、その解決に向けては長期的な展望が必要です。

本市では、2014年の「水戸市第6次総合計画—みと魁プラン—」の策定時より、将来的な人口減少を見据え、様々な施策を展開してきました。さらには、2016年に「水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人と仕事の好循環により、まちに活力を生み出すための施策も重点的な推進を図っているところです。これら様々な施策の展開により、現在のところ、人口は概ね27万人を維持し、合計特殊出生率も県平均を上回っています。しかし、将来的には水戸市においても人口減少は避けられないものとなっています。

このような中、市民の安全で安心できる暮らしを実現していくためには、時代の課題に柔軟に対応できるまち、経済的な進展はもちろん、良好な生活環境をあわせて維持できる、将来にわたって発展できる自主・自立したまちをつくっていかねばなりません。そして、その実現に向けては、ハード、ソフト両面からの取組を進めていく必要があります。

まずは、変化に対応できる都市空間整備です。都市核への都市中枢機能の集積を基本に、産業系拠点や地域生活拠点へその役割と地域特性に応じた機能を配置、誘導するとともに、公共交通をはじめとする拠点間の機能連携ネットワークを形成しながら、持続可能な都市構造、水戸ならではの多極ネットワーク型

コンパクトシティの実現を目指しています。

将来にわたって市民の暮らしと健康を支えていくことも重要です。多様な子育て支援の充実をはじめとする安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりや地域包括ケアシステムの構築、安定的な医療提供体制の確保など、住み慣れた地域で生き生きと暮らすことのできる環境づくりを力強く推進し、切れ目のない持続可能な社会保障の確立に取り組んでいます。

さらには、複雑・高度化する市民ニーズに柔軟に対応できる、持続可能な行政運営を進めていく必要があります。財政規律を堅持し、次の世代に過度な負担を残さない健全な財政基盤を構築していくとともに、機能的かつ効率的な組織体制をつくっていかねばなりません。

これまで述べてきた持続可能なまちづくりを進めていくためには、行政による取組はもとより、まちに暮らす「人」が、地域やまち全体の課題、目標を共有し、主体的にまちづくりに参加・参画していただくことが大切です。私は、課題の解決、目標の達成に向かって、市民と行政とが共に考え、活動する力は、躍動感あふれるまちへの原動力になるものと確信しています。

2020年、水戸市は中核市へ移行することにより、これまで以上に行政としての機能、権限が拡大します。市民とともにより良い公共政策とは何かを考えていく思考力の高いまちにしていきたいと思っています。

私は市民力・地域力とともに、子どもたちの未来を切り拓く力を大切に育みながら、時代のあらゆる変化に応えることができる持続可能なまち、魁のまち・水戸の実現に全力を尽くしてまいります。



水戸市子育て支援・多世代交流センター
はみんぐばーく・みと



遊んで 学んで みんなで支える
「認知症456 (すごろく)」



建築作品紹介

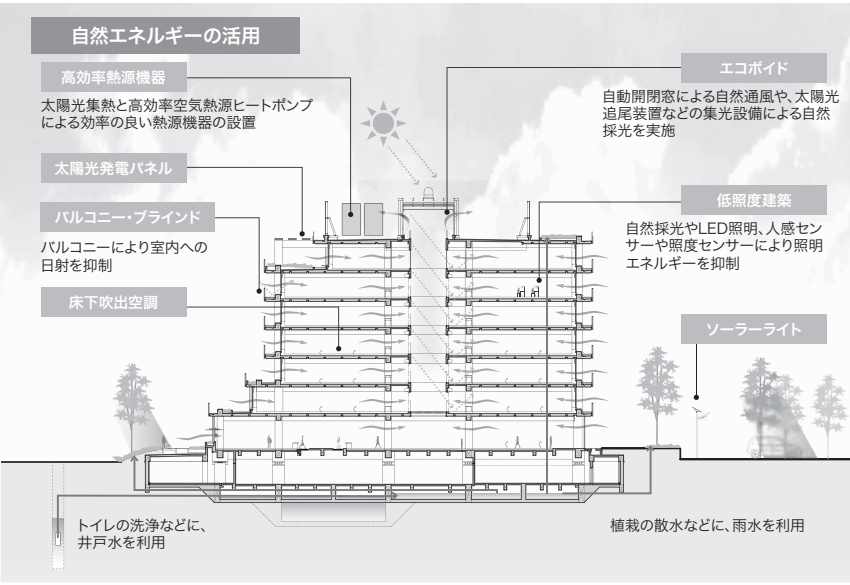
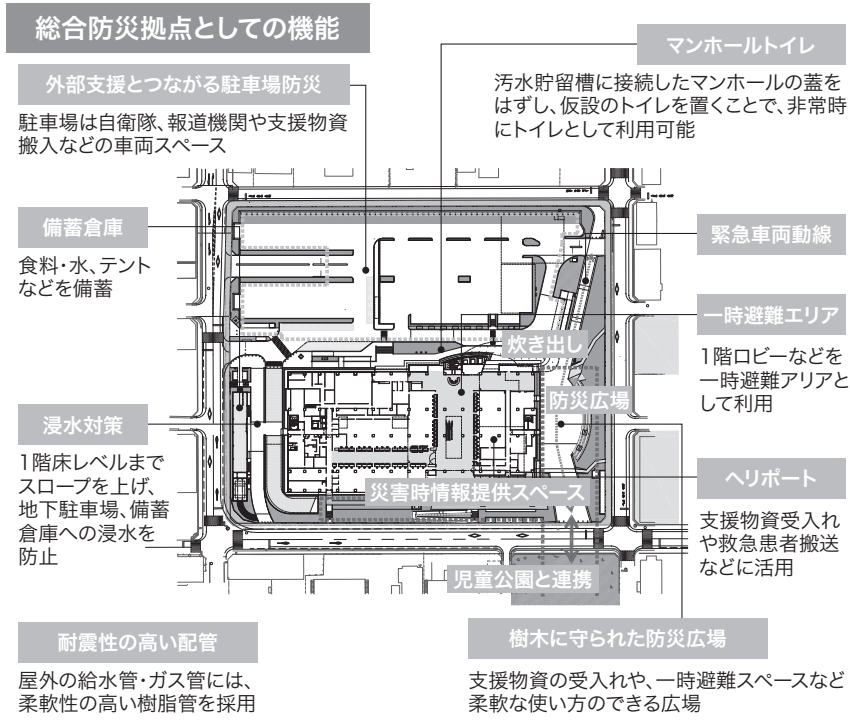
新水戸市役所

水戸市では、平成23年の東日本大震災により被災した旧庁舎に代わる防災や市民サービスの拠点として、新庁舎の建設工事を進めてきました。

新庁舎は「安全で市民が快適に利用できる庁舎」を目指しています。過去の災害の経験を活かし、総合防災拠点として高い安全性を備え、大きな災害の際にも継続して使用できる庁舎としています。

誰もが安心して使うことができるようにユニバーサルデザインを取入れたり、バリアフリー化を行ったりしています。また、太陽光発電パネルの設置などを行い、環境に配慮していることも特長です。

- 建設地 水戸市中央1-4-1(旧庁舎所在地)
- 敷地面積 22,092.29㎡
- 建物概要 庁舎/鉄筋コンクリート造、地下1階・地上8階建て
延べ床面積40,239.33㎡
備蓄倉庫/鉄筋コンクリート造、地下1階・地上2階建て
延べ床面積619.58㎡
- 建築面積 庁舎/5,909.81㎡ 備蓄倉庫/275.24㎡
- 駐車台数 平面駐車場/222台 地下駐車場/147台
- 駐輪台数 自転車/230台 バイク/40台
- 設計・監理 久米・柴建築設計共同企業体



安全で市民が快適に利用できる庁舎

総合防災拠点となる安全性が高い庁舎

- ・免震構造を採用
- ・非常用発電機や耐震性貯水槽などを設置
- ・1階の床レベルを周辺地盤より1.5m高く設定
- ・ヘリポートの設置
- ・市長室、防災・危機管理課、消防本部などを4階に集約するとともに、防災センターを設置

すべての人にやさしい庁舎

- ・勾配のゆるやかなスロープなど、バリアフリー法の認定基準を満たした庁舎
- ・誰にでもわかりやすい案内表示など、ユニバーサルデザイン (UD) の導入

市民に開かれた親しみやすい庁舎

- ・展示や発表に利用できる多目的スペースの設置
- ・観光情報などを発信するスペースの設置

環境にやさしい庁舎

- ・太陽光発電やエコボイド (吹抜け) の活用
- ・トイレ洗浄などの雑用水に、井戸水や雨水を利用

利用しやすい庁舎へ

新庁舎では、低層階に利用の多い窓口部門を集約するほか、コンビニエンスストアやレストラン、常陽銀行水戸市役所支店なども設置し、市民の皆さんが利用しやすい庁舎とします。

先輩会員を訪ねて



分会制を廃止し、事務局を固定化

内芝 良吉 氏 (鹿島支部)
昭和28年生まれ/昭和56年入会/会員歴37年

小生のS56年婿入りの仲人さんは、当時の鹿島支部長の遠藤さんでした。建築士会に加入していなければ、今の家庭はないと思うと不思議な縁でございます。

当時の鹿島支部は150人程度会員がおり、総会も福引等もあり盛大でした。企業(製鐵所)に勤務したため、主として工場建設、構外の社宅・单身寮の工事に関わりました。建築士としては、応急危険度判定活動や各種研修会・講習会等の本部・支部行事にも参加してきました。

—鹿島支部長としての抱負

以前の鹿島支部は、鹿島・神栖・波崎の3分会で活動し、支部長も2年交代でした。

本年度から、会員減少もあり分会制を廃止し、活動の中心となる事務局を固定化し、支部長は県本部との調整や行政との連携に傾注する事としました。

10年ぶりに2回目の支部長(県の理事)を受けることとなりました。会員の皆様に公平に、メリットを考えてゆきたいと思っています。

—後輩へのメッセージ

鹿島支部は県都から見れば端っこで頑張ってます。海と北浦そして利根川の風光明媚環境快適な場所です。この特徴を活用しながら、空き家率の高いこの地区に住宅を含む建築全般、そしてまちづくりに関心を持って地域の活性化に取り組んで頂きたい所です。



支部会員の連携

和田 邦裕 氏 (石岡支部)
昭和30年生まれ/昭和58年入会/会員歴35年

私が石岡支部に入会したのは約30年前です。事務所を開設して間もなくであったと思います。中学校からの同級生の誘いでした。支部の行事には可能な限り出席し交流に努めました。石岡支部は、役員改選がある総会は建築視察を兼ねた旅行でした。印象深く残っております。行事を行うには必ず会員の誰かが企画をしております。企画してくれた会員に感謝し、その後の活動に大変勉強になりました。

—石岡支部長としての抱負

3年前より、会員の連携のもと支部長を務めさせていただいております。近年の石岡支部の活動で「石岡市内小学校絵画展」があります。今年で14回目の開催です。テーマは「未来に自分が住んでみたいまちや家」です。石岡市教育委員会の後援や地元企業よりの協賛もいただいて実施しております。行事を通じて今後地域に建築士会の周知に努めていきたいと思っています。さらに年一回の研修旅行(重伝建地区を訪ねて)を実施しており、今後とも会員の交流や研鑽に努めていきたいと思っています。

—後輩へのメッセージ

支部や本部の行事に積極的に参加し、企画や運営に携わってみてください。活動を通じて一生付き合い合える人に出会えると思いますし願っております。



株式会社 桜設計事務所

代表取締役 山田博通

〒310-0851 茨城県水戸市千波町1239

TEL 029-241-8441 FAX 029-241-8579

E-mail: cnsakura@cocoa.ocn.jp (代表)



茨城県知事指定確認検査機関

株式会社 安心確認検査機構

URL: <http://www.ansin-k.jp>

安心で快適な“まちづくり”をサポート

【取扱業務内容】(茨城県全域)

- 建築確認・検査業務
- 適合証明業務(フラット35)
- 長期優良住宅技術的審査業務
- 住宅性能評価業務
- 住宅瑕疵担保責任保険検査業務
- 低炭素建築物技術的審査業務
- 認定表示技術的審査業務
- 既存住宅検査業務
- 建築物エネルギー消費性能適合性判定業務
- 性能向上計画認定技術的審査業務
- BELS評価業務

【業務の範囲】

- 10,000㎡以内の建築物の建築確認、及び完了検査並びに中間検査(仮使用認定)
- 施行令第146条第1項第1号に規定する建築設備(エレベーター及びエスカレーター)
- 施行令第138条第1項に規定する工作物

■ 本部事務所

〒310-0805
茨城県水戸市中央1-8-17

TEL: 029-224-8522

FAX: 029-224-8666

E-Mail: mito@ansin-k.jp

■ つくば事務所

〒305-0051
茨城県つくば市二の宮2-1-3
クラフト二の宮ビル2階

TEL: 029-886-3155

FAX: 029-886-8021

E-Mail: tsukuba@ansin-k.jp

お気軽にご相談・ご利用くださいますよう、よろしく願いいたします。

《Web申請 及び 即日審査・交付(詳しくはスタッフまで)を取り扱っています》

Welcome Freshman!!

- ①氏名、支部
- ②勤務先
- ③自己紹介
- ④入会の目的
- ⑤建築士会に期待する活動・参加したい活動
- ⑥建築士として将来の目標



田家 頌太 21歳
県央支部

- ①田家 頌太 21歳 県央支部
- ②(株)ヤマト建築設計事務所 勤務
- ③建築の仕事始めて2年目になります。まだまだ分からないことだらけですが、宜しくお願いします。
- ④建築に携わっている方々との交流が図れればと思い入会しました。
- ⑤セミナー等です。
- ⑥お客さんに喜んでいただける建物を造っていきたいと思います。

- ①増山 保之 36歳 土浦支部

- ②(株)増山栄建築設計事務所 土浦設計室

- ③昨年、2級建築士に合格し建築士会に入会しました。大学では機械工学を学び、プラント系の施工管理会社に勤めておりましたが、筑波研究学園専門学校で建築を学び直しました。建築に関してまだまだ未熟ですので、建築士会で企画される講習等に積極的に参加し、知識を深めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひ致します。

- ④建築士会が企画する講習会への参加と、地域との交流の為に参加しました。

- ⑤講習会、見学会等に参加し知識を深めることです。

- ⑥まずは1級建築士を取得することです。



増山 保之 36歳
土浦支部



今井 真奈美
坂東支部

- ①今井 真奈美 坂東支部

- ②住宅メーカーのリフォーム会社に勤務しています。

- ③海外ドラマと料理をこよなく愛し、庭のレンガ積みにはまっています。

- ④イベントやセミナーに参加したいと思い、入会させていただきました。

- ⑤見学会やものづくりにかかわるなど豊かな生活につながる活動を期待しています。

- ⑥自己のスキルアップに留まらず、地域の貢献や住まいの安全などに応えられるようになりたいです。



総合建設業 一級建築士事務所 総合不動産業

株式会社 清水建設

代表取締役 清水 洋一

これまでに感謝、未来へ飛躍

【本社】 〒311-0105 茨城県那珂市菅谷517-1
TEL 029-298-0074 FAX 029-298-0109
E-mail. info@shiken-c.com
URL. http://shiken-c.com

【水戸営業所】
【ひたちなか営業所】

〒310-0803 茨城県水戸市城南3-5-14
TEL 029-231-8303
〒312-0063 茨城県ひたちなか市田彦950-101
TEL 029-276-1050



重ねてきた時間が、確かな絆を育んでいく。
シアワセを記憶する、ホテル。



伊勢葛グループ 水戸プラザホテル

〒310-0851 茨城県水戸市千波町2078-1

Tel.029-305-8111(代表)

<http://www.mito-plaza.jp/>

鹿島支部のご紹介

鹿嶋市29名、神栖市23名、合計52名で今年度もスタートしました。従来は3つの分会(鹿島・神栖・波崎)制度をとっていましたが、会員の減少もあり組織を大幅に変更しました。昨年度までは、支部長以下15名の役員としていましたが、今年度は11名とし、事務局権限を大きくし、活動の活性化を計画しています。

支部独自の活動は総会、研修会、建築パトロール(2回)程度しかできませんが、本部行事への参加を積極的に取り組む予定です。



今年は10月26日の全国大会「さいたま大会」へ支部行事の研修会・懇親会行事として15名参加しました。

6月の第28回チャリティゴルフ大会には、鹿島支部から11名の参加をしました。

共通課題での会員増強、高齢化対策、地域での空き家対策も取り組み課題としています。

東日本震災から7年が過ぎ「応急危険度判定」「被災家屋調査」「住宅相談」等で行政へのお手伝いが出来ましたが、いつ災害が起こるかは予想できません。万一の備えを支部としても体制を検討していく予定です。他の支部との交流も検討したいです。



ひたちなか市産業交流フェアに参加して

平成30年11月3日・4日、2日間にわたり、ひたちなか市産業交流フェアに建築士会ひたちなか支部ひたちなか地区として参加しました。平成7年から連続出展し、今年度の事業テーマは「未来につなぐ 地域の産業 ひたちなか市産業フェア」われわれ建築士会も～子供も大人も来て見て遊んで楽しいフェア～の副題のとおり、子供からご老人まで多くの方々と接し出展側としても楽しめる交流ができました。

例年の通り、苗木のプレゼントを目玉とした材木の名前当てクイズ。杉、榎、樺、松、とダミーの集成材をならべて名前をあててもらおう。難しいのは我々として同じなのですが、最近では住宅

の造りを変化していて柱に使う材料、床の間などの地板として使う、お風呂にしたらすごく良い香りがする、などというヒントはまったく役に立ちません。柱も見えないし、床の間などは一般住宅から除かれる部分となり、浴室はユニット。来年は木材の性質や用途などを分かりやすく解説付きにしようと考えています。苗木は開始90分くらいで配布終了し、人気の的となっています。

子供たちにも楽しめる企画として、今回からUFOクレーンゲームを取り入れました。飴玉やストラップを獲得できるのですが、手馴れた子供、初めての操作かなと思える子供、はたまた生涯こんなゲームは関係なかったであろうご老人も商品

は要らないから挑戦してみたいという方、皆さん真剣な眼差しで参加していただき、黒山の人だかりと長い行列が出来てしまいました。そしてこの長い行列が次の興味をひきつけてくれます。お隣ではラジコンによるバックホウのデモを行い、未来の工事技術者へのきっかけになるか！UFOクレーンゲームよりも目を皿のようにして見続ける子供さんもいて、将来が楽しみです。

またスポット的な話題として、耐震、免震、制震を施した地震による建物の揺れ方の違いをペーパークラフトで単純な模型を作り、比較実験するコーナーを設けました。それなりに違いも認識できたと思います。学校等でも目にする免震装置の役割も、この実験により理解してもらえたかと感じています。

今回のフェアの来場者は延べ30,000人昨年比1,000人増（主催者発表）ですが、我々のブースも昨年以上の来場があったように思います。建築



左から耐震実験・バックホウデモ・UFO クレーンゲーム



沢山の来場者



材木当てクイズ

士会の存在を多くの方に知っていただき、今後も地域社会に貢献していきたいと思うフェアとなりました。

活動報告

県央支部

県央支部 石川 啓司

県央支部 第97回建築セミナー報告 「ハイブリッドスポーツカーを創った想い」

11月15日、県総合福祉会館研修室にて、第97回目の建築セミナーが催されました。今回の講演者は本田技術研究所の元主任研究員、CR-Z開発責任者の友部了夫さん。友部さんは水戸工業高校を昭和47年に卒業され、本田技術研究所に入社、エンジン・エミッション開発研究部に配属。CVCCエンジンや触媒研究、当時厳しくなりつつあった排ガス規制に対応するため、「世界一の低排気ガスエンジン」に取り組み研究を重ねられた。入社17年目にアコード・プレリウド車のエンジン開発の主任研究員を経て、26年目に商品開発責任者に就任された。飽くなきチャレンジ精神。揺るがない技術者魂。実力主義。合理主義。車と建築は明らかに違うが、ものづく

りとして様々な共通点がある。建築にも通じる、ものづくりへの熱い想いが伝わりました。友部さんの熱弁に引き込まれ1時間半があつという間に、聞き手として興奮を覚えました。なお県央支部建築セミナーでは2月14日にレーモンド設計事務所代表取締役の三浦敏伸さんと多彩な講演を準備しております。



第38回 青空市の参加に寄せて

11/3文化の日 水戸市森林公園で行われた「第38回青空市」に参加して参りました。企画委員会としては、今回が初めての参加になります。

このイベントは、都市と農村との交流を図ることにより、山根地区の活性化を促進し、併せて自然の大切さや農林業への理解を深めてもらうことを目的として一年に一度開催しているとのことです。企画委員会は、子供たち（家族）を対象に、木工教室を実施しました。

今回も水戸市植物公園で毎年行っているように、3~4時間程度でつくれる椅子や収納箱などの工作を主として行いました。

座面の大きさが300mm□程度の小さな椅子が作れる素材をだまかにカットしておき、材料をそろえます。それらは全て前日までに小川委員に

尽力頂き準備、搬入しています。

とにかく、木に触れ、道具を使い、一つ一つ考えながら自分の手で作るという感じです。

そして、間違った使い方をすると怪我をする、場合によっては痛いこともあるという当たり前のことも学んだり、自分だけの椅子が完成した時の喜びも味わって欲しいなどと、木工教室を通じて何かを感じて頂ければと勝手に思っています。

最も親御さんたちが、お子さんそっこのけで夢中になってしまう光景もありましたが、完成した作品を嬉しそうに持って帰る笑顔を見れば、いつも実施して良かったと思える木工教室です。そして、少しでも建築士会の社会へ対しての貢献、宣伝になれば尚良いと思える一日となりました。



「名所めぐり」

高萩支部は会員相互の親睦を目的に、十数年前から日帰り研修を企画し、各所旧跡めぐりをしております。ただし会員のみの企画ではなりたらず、会員様のご家族、北茨城支部のご家族様、そして友人の方と声をかけ支部活動をPRしながらご協

力頂き活動しております。

今年も9月30日に群馬の迎賓館「臨江閣」と「群馬県庁新、旧館」の見学に行つて参りました。臨江閣本館は明治17年当時の県令楢取素彦氏の提言により地元の有志、企業の寄付で建設され

明治26年には明治天皇の行幸、大正天皇（当時は皇太子）等多くの皇族方がご滞在されています。明治43年には別館を増設し、西洋室、日本間と創建当時の面影を良く残しており、見ごたえがありました。又群馬県庁新庁舎は、やさしさ、環境への気遣い、防災の拠点、便利で快適な、をテーマに「群馬の元気のみなもと」を発信したい、そんな願いをこめて建てられたそうです。展望ホールからの四方の眺めも素晴らしく大満足の日でした。



活動報告

北相馬支部

北相馬支部 土井 金哉

「とりで産業まつり」に参加して

第37回目となる「とりで産業まつり」に北相馬支部（取手地区・守谷地区・藤代地区・利根地区）全体で参加いたしました。晴天にも恵まれ多数大勢の人が午前中はシニア層が、お昼近くには親子連れが訪れ、ステージで次々と繰り広げられるショーを楽しんでいました。建築士会では、1ブースに模型の展示・パネルの展示・建築無料相談会場等を設け建築士会のPRにつとめ、本

部からの提供される苗木の無料配布と同時に、取手市の木造住宅耐震診断のアンケートをお願いし、耐震の認識と診断には建築士会が業務を行なっていることを知っていただきました。相談会に於きましては、震災の後の被害を受けた壁の補修・修繕等の方法又現状の状況の不安などに関して相談を受けました。又、古民家の改築相談、空家住宅の維持管理、売却等の手順方法の相談などを受けました。「とりで産業まつり」は、初参加となりますが、2回3回と続けて建築士会のPRに努めて行きたいと思います。



耐震診断・改修の啓発活動

つくば市産業祭2018に「耐震診断・改修の啓発活動」及び「建築士会のPR活動」の一環として、10/20(土) カピオ前広場に 建築士会として出展いたしました。

1. 耐震診断・改修の啓発活動

アンケートを実施し、耐震の対象者にはパンフレットを配布すると同時に、つくば市が無料の耐震診断を行っている事などをアピールいたしました。また、耐震補強金物のカットモデルやパネルの展示もあわせて行い、興味をお持ちのお客様には、詳しく説明を加えるなどいたしました。アンケートは約200

名分実施しております。

2. 建築士会のPR活動

当日の展示ブースには「建築士会筑波支部」のノボリや看板を設置し、茨城県建築士会の苗木配布事業の一環としてブルーベリーの苗木150株、花の種200袋、その他、駄菓子などを、アンケートの謝礼として配布し好評を博しました。



株式会社 相澤建築設計事務所

代表取締役 相澤晴夫

(一社)茨城県建築士事務所協会会員

(一社)茨城県建築士会会員

〒300-1256 つくば市森の里1169-2

TEL (029) 876-0617 FAX (029) 876-0679

..... 建築塗装・総合防水・広告看板.....

暑さ・ECO 対策に、熱を消す不思議な塗料

「熱交換塗料」責任施工の

株式会社 **タケイ・アーツ**

■ TEL 0299-23-1738 ■ <http://www.i-takei.co.jp/> ■

■ 熱交換塗料のカタログ・DVDをプレゼント致します ■

HITACHI
Inspire the Next



あなたを思いやること、心地よくすること

HUMAN FRIENDLY

日立エレベーター・エスカレーター



株式会社 **日立ビルシステム** 茨城支店 〒310-0011 水戸市三の丸1-4-73 TEL:029-221-5117

<http://www.hbs.co.jp/>



寿レンドリングス建築パーススタジオ

KROSAI
KOTOBUKI RENDERING DESIGN STUDIO

茨城県建築士会・茨城県建築士事務所協会賛助会員

〒311-4141 茨城県水戸市赤塚1丁目385-31

TEL 029・246・6588

mail:kotobuki-r@nifty.ne.jp

<http://kotobuki-r.com/>

各種パース製作、お気軽にご相談ください。

☆ 次代の多様なニーズにお応えするテクノ・スピリット ☆

総合建設業（土木・建築・水道・舗装等）

電気工事業（一般及び特定電気工作）

一級建築士事務所 茨城県第A2595号



株式会社 **鹿島テクノス**

代表取締役社長 野口洋治

管理建築士 内芝良吉（鹿島支部長）

〒314-0014 茨城県鹿嶋市大字光3番地

TEL0299-84-3488 FAX0299-82-9191

第61回建築士会全国大会「さいたま大会」に参加 茨城会の4名が連合会会長表彰を受賞

平成30年10月26日(金)に埼玉県さいたま市大宮ソニックシティにおいて、平成30年度建築士会全国大会「さいたま大会」が開催されました。茨城会からは123名が参加し、4名の会員が連合会会長表彰を受賞しました。受賞された会員の皆様は右記の通りです。



安達さん 池崎さん 荒川さん 小沼さん

平成30年度連合会会長表彰者

荒川 芳和(総務・企画委員会委員)

池崎 栄二(総務・企画委員会委員)

安達 芳男(会員委員会委員)

小沼 隆志(会員委員会委員)

4名の皆様、誠におめでとうございます。今後のさらなるご活躍を期待しています。

「建設フェスタ 2018」苗木配布に工夫をこらして 参加者の笑顔溢れる

平成30年10月27日(土)にひたちなか市の笠松運動公園特設会場において、恒例となっている「建設フェスタ2018」が開催されました。建築士会の建設フェスタ参加は今年で14回目であり、建設・土木関連団体52団体が集まり、国内最大級のPRイベントになっています。

今まで日曜日の開催で、天候に恵まれず雨が降ることが多かったのですが、そんな中で、今年は土曜日開催に決定したと聞いたときには、天気もさることながら人出がいかかなものかと気になりました。しかし、当日の朝がたは雨が降っていたものの、開始時刻には雨も上がり順調に開催され、心配をよそに多くの来場者で賑わいイベントは盛大に盛り上がりました。



建築士会は毎年、茨城県建築士事務所協会、茨城県建築センターと連携して苗木の無料配布を主導的に行っており、今年もブルーベリーの苗木を各団体で200本ずつ、計600本を無料配布しました。配布に際し時間を午前・午後の2回に分け100本ずつ配るのですが、昨年までは配布

時間が来たら並んでいる参加者に何もなく渡しているだけでした。そうすると100本が10分~15分くらいでなくなってしまうのですが、それではつまらないからと専務理事のアイデアもあり、今年は簡単なゲームをしながら配り方に工夫をこらしました。「いえ」「ビル」「がっこう」の建物のマンガ絵を描いたカードを、トランプの「神経衰弱」のようなゲームで、当たるように仕向けてはいるのですが、これは子どもが当てても本人も親御さんも

喜ぶし、お年寄りが当ててもボケ防止で良かったと喜ぶので、昨年まではなかった笑顔溢れる配布となりました。

また、建築士会のブースには本会の主旨に賛同し、一緒に参加している賛助企業3社がそれぞれ工夫をこらし綿菓子やスナック菓子、輪投げのアトラクション、漆喰(しっくい)を使ってピカピカに磨かれた球体製作にも多くの子供達が集まり活気が溢れていました。

大子の古民家修復へ支援金寄贈

平成30年12月4日(火)、大子町塙の陶芸家、故ゲルト・クナッパーさんが居宅として愛し続けた茅葺き屋根の古民家を修復するための支援金10万円を長女のウテさんに手渡しました。

総務委員会小川憲一委員長と加藤繁治専務理事がウテさん宅を訪れ、「新聞記事を読み古民家のことを知りました。日本の建築文化を残さなくては、というお父さんの考え方にも共鳴しました。建築士としてお手伝いが出来れば」と、支援金を贈りました。

ウテさんからは「茅葺きの古民家を存続させ、この里山の風景を残していきたい」と感謝の言葉



をいただきました。

茅葺き屋根の古民家を維持するためには、今後も継続的な支援が必要です。会員の皆様、引き続き協力をお願いいたします。

熱意・創意・誠意

特定建設業・一級建築士事務所



since 1960

株式会社 **根本工務店**

代表取締役
一級建築士

根本勝義

<http://www.nemoto-komuten.com>

〒310-0913 茨城県水戸市見川町2131-436
TEL 029-241-1227 FAX 029-241-8500

「第27回日帰り見学会」報告 (11月3日文化の日) 豪華絢爛国宝建造物と歴史的建造物見学!



赤坂迎賓館

江戸東京たてもの園内子宝湯 (銭湯 / 1929年)

次の迎賓館：赤坂離宮は各国の王族や首相などの大切な賓客を接遇する場として現在も使われているところです。ここでの奇跡その②、なんと行列無しで入館！（通常はセキュリティーチェックにもかなり時間がかかるとの事でしたが…）館内は、国宝なので壁・備品類 接触厳禁。唯一、移動中 階段の手摺のみ握ることができました（苦笑）。

昼食は深大寺にて。有名な深

大寺そば！超美味でした！

最後は江戸東京たてもの園へ。多様な歴史的建造物に囲まれ大変勉強になりました。

最後の奇跡その③、「帰路は大渋滞」とガイドさんより事前説明あるもなぜかスムーズ。奇跡続きの一日でした。

来年の日帰り見学会も楽しみにしています。

第27回になりました日帰り見学会、一言でいうと奇跡です。今年は総勢89名。たくさんの方々にご参加をいただき感謝いたします。

まずは行きの車内、首都高のとある場所で一瞬しか見られない奇跡その①、ゴールドスカイツリー！（ビル窓が金色の為、反射してスカイツリーが金色に！）



協賛いただき
ありがとう
ございました

(株) 日立ビルシステム
(株) 総合資格
植田防水工業 (株)
(株) 角藤

(株) 住金システム建築
能美防災 (株) 茨城支社
(株) LIXIL 茨城支店

水戸市新庁舎見学会

委員長 山田 一博

平成30年11月20日(火)、建築士会主催の水戸市新庁舎見学会に参加して参りました。午前・午後の2部に分け、各50人程度を募集し実施しました。見学前に、久米・柴建築設計共同企業体の担当者より30分程度、建物の概要をスライドでレクチャー頂きました。

震災で被災したことから総合防災拠点として安全性が高い庁舎として整備されています。免震構造を採用し、PH階にはヘリポートの設置、耐震性の貯水槽、備蓄倉庫、浸水対策として周辺地盤より1.5m高い1階の床レベルの設定、機械室を屋上配置にするなど、安全・安心な庁舎となるような整備が図られています。

一方、意匠的な特徴として外観上はシンプルに機能性重視とし、華美にしない質実剛健な庁舎がコンセプトとなっています。それは、例えば弘道館へのオマージュもあるでしょうか、白壁による水戸らしさの演出、県都に相応しい風格としてデザインされています。スチール、ガラス、木、メッキ、コンクリートなど適材適所でその肌触り、色味が変化しています。県産材の杉の



羽目板壁、無垢フローリング、溶融亜鉛メッキ・りん酸処理が施された丸柱、壁。そのイメージに統一されたサインのベース部分。OSBのトイレブースなどなど、さりげなく調和していたり、微妙な差異のコントラストだったり、機能と耐久性(安全性)をきちんと担保しながら、求めているイメージがつけられている気がします。

構造的には、傾斜した支持層(杭長10m~26m)を考慮した、ねじれの発生しにくい杭計画となっています。そして、地下1階駐車場で中間免震構造を採用しています。その他には、全館避難安全検証により排煙が免除されており、CASBEEも最高ランク(Sランク)を設計時に取得しているとのことで、いわゆる最新の設備を備え、公共の建築物としてあるべき姿になっていることが伺えます。

これから建物周囲の緑、外構にも手が入りさらに環境が整っていくでしょう。

水戸市東町体育館完成見学会

副委員長 武居 公江

平成31年1月17日(木)アダストリアみとアリーナ見学会が(一社)茨城県建築士会主催で、午前・午後と49名の参加で開催されました。

最初に、体育施設整備課・建築課の担当者より概要を説明頂きました。

工事の課題が3点。①遅延不可能なスケジュール ②限られた事業費内での確実な予算管理。③発注体制の補完。その解決策として、入札をECI方式(設計段階から施行者が関与)とCM方式(発注者体制を補完し、技術協力業務期間中のコ

スト・工期・品質の適切なコントロールを

図る)が採用されました。

それらによって、2年間の工事期間を経て昨年の12月に完成し、予定通り4月のオープンを待っている、建築面積約11,146㎡、地上3階、地下1階の体育館。貴賓席・貴賓室もあり、梅の花をモチーフにしたサインボードなど、見応え十分。どうぞ、足をお運び下さい。



木造住宅耐震診断士養成講習会 委員 石黒 幸喜

平成30年11月20日、茨城県庁において「茨城県木造住宅耐震診断士養成講習会」が開催されました。講師には(一社)茨城県建築士会常務理事・ひたちなか支部長の川又先生を迎えて行われました。新耐震基準となる昭和56年以前に建築された既存の木造住宅の耐震診断を行う診断士を養成する講習会です。

市町村が実施する木造住宅耐震診断士派遣事業や耐震診断費補助事業を利用する場合、その診断を行う建築士等が茨城県木造住宅耐震診断士であることが必要となります。当日の講習会には新規・更新50名の参加がありました。

第一部「総論・一般診断法 被災度区分判定の概要」、第二部「例題演習・精密診断・補強方法」という構成で約4時間の講習となりました。

第一部では、耐震改修促進法ができた経緯やその内容について、設計と耐震診断の違い等、また建築基準法の改正に伴って変わってきた木造住宅に関する基準の変遷、耐震診断における基本的なルールや流れの基礎的な話から始まりました。次に、市町村が行う耐震診断士派遣事業で使用される一般診断法の解説です。これは技術的な話ばかりでなく実際に先生が経験されてきた話を交えての講義でした。

依頼者への接し方や注意事項等、やはり一般の方にわかりやすい説明が、トラブルを避ける重要事項ということが伝わりました。



市町村からの公務の依頼として行っていることを自覚して耐震診断業務を行わなければならないという事を感じました。第二部では具体的な計算方法や耐震補強のための精密診断の概要、並びに実際の補強方法などを実例と共に解説頂きました。また、この講習を受講すればすべて理解できるという事ではなく、やはり経験を積み重ねながら技術を身に付けて行くことが大切であるという先生の言葉を肝に銘じて、更なる木造住宅耐震診断士としてのスキルアップを感じさせられる講習会でした。なお茨城県では、次年度以降もこの講習会を実施する予定だそうです。認定要件に該当する方や更新時期に当たる方はぜひ受講していただきたいと存じます。

総合建設業
一級建築士事務所



株式会社

小薬建設

〒308-0805 茨城県筑西市稲野辺45

TEL 0296(22)5266

FAX 0296(22)5455

URL <http://www.kogusuri.jp/>

グリーンフェスティバル2018

副委員長 菅澤 達行

10月28日(日)「グリーンフェスティバル2018」が土浦市の霞ヶ浦総合公園において開催されました。広く県民の方々に森林・林業・木材産業や霞ヶ浦などの自然環境について理解と関心を深めていただくことが主旨で、会場ではミニ上棟式やしいたけもぎとり、林業機械の試乗など、様々な体験をすることができます。当日は素晴らしい秋晴れに恵まれて、家族連れなど約1万人の来場者がありました。

私たちは小学生以下のお子さんを対象とした、ミニダンボールハウスを作成するワークショップを行いました。開始直後から多くのご家族に参加して頂き、たちまち行列ができる人気ぶりで、閉会時間を待たずして、用意した100セットが無くなってしまいました。子供たちだけではなく親御さんもデコレーションに夢中になり、独創的なダンボールハウスがたくさん

出来上がりました。

参加して頂いた方からは「来年もぜひ行ってほしい」などの嬉しいお言葉を頂き、建築士会のイメージアップにも貢献できました。



真っ白なダンボールハウスに自由にデコレーション



開始早々から行列に

パスタブリッジコンテストを終えて

委員 加藤 雅史

台風24号が迫り様々なイベントが中止を余儀なくされる中、青年委員会としては2回目となるパスタブリッジコンテストが9月30日に行われました。

実際には県央支部で行われていた経緯もあり実質4回目となる今回はこれまでより一步踏み込んだ目的設定が必要になると意識しました。

青年委員会で話し合った結果、①もっと一般の人



達に建築士会をアピールできないか。②今までは建築学科の学生の参加に絞っていたが、普通科を卒業してから建築業界に入る方もたくさんいる。建築学科にこだわる必要はないのではないか?との意見があり、この辺りを目的の一つに設定しました。

結果、日立市様の協力を頂き今年から新しくなった日立市役所1階ロビーにて開催する事で一般の方にも見て頂く事に、そして日立市の明秀学院高等学校様より3チーム出て頂く事になりました。

開催途中に市役所職員様による「市役所内見学ツアー」も行われ、茨城大学生チームの8350部の優勝にて好評の中終了することができました。

近年、時間やお金のかかるイベント開催の意義を問われますが、普通学科の学生が「建築を好きになった」と言ってもらえたこのイベントは継続して行うことが建築士会の役割だと感じました。

9月のわくわく セミナー担当 を終えて

委員 橋本 珠美



あまり大きな声では言えないのですが、今回の講師依頼を県の建築指導課をお願いしたところ、すぐにはお返事をもらえませんでした。

開催場所が土浦であることや夜間時間帯であることが少々問題だったようです。

しかし、帰り道なので私が行きますよ!とお返事をいただき快く引き受けて下さった 建築グループ中山氏には大変感謝しております。

身軽に一人で来られ、一方的に話をすることよりも座談会形式を希望されての講師でした。幸いわくわくセミナーは15人前後での講習となりますので、上手い具合に質問も交えながらの楽しい2時間となりました。遅くなりましたが今回、9月のわくわくセミナーテーマは定期報告・ブロック塀・基準法改正についてでした。間もなく提出が義務化

される防火設備の定期報告について学ぶことが当初の目的でしたが、まだこの時点で県ではその動きが無いとのことで防火設備報告についての実務上の話は聞けず、少々フラッシングをしてしまった気もしくはなかったのですが、建築物の定期報告については、今まで未解決であった部分を解決することができた等、やはり学ぶことが沢山あったセミナーとなりました。

わくわくセミナーは県女性委員会で企画する県南地区を活動拠点とする勉強会です。このようにひとつ担当するテーマが無事済むとほっとするのが正直なところです。年が明けると来年度1年分のテーマを決める企画会が開かれます。毎年、毎日、その時の為に(正確にはわくわくセミナーで学ぶ為に)テーマ探しをしているようになりました(笑)。

わくわくセミナー11月「内装セミナー」

委員 松岡 利香

11月のわくわくセミナーは、最新の「内装材」を学ぶというテーマで、Panasonicハウジングシステム事業部の松矢浩史氏を講師にお迎えしました。

Panasonicつくばショールームを会場に、主に「フローリング材」と「内装建具」について、商品の特徴と性能を解説していただきました。

フローリングについてはサンプルを用いて、木目の再現性の高さや耐傷性を確認したり、紫外線によ

る変色を比較した試験体を見せていただき耐褪色性の確認などを行いました。



内装建具については、実物大サンプルにより金具の機能性やデザイン性、指詰め安全性などを確認させていただきました。

今回のセミナーは体験的要素が多かったため、カタログでは得られないリアルティと共に商品への理解が深まり、実務に役立つ内容だったと思います。



9月ラブアークセミナー「Power Point中級編」

委員 小貫 弘巳

9月21日「実務に生かせる知識を習得するためのセミナー」として、前回の「初級編」に続き「Power Point中級編」が開催されました。今回の「中級編」ではプレゼンテーション能力をみがくため、スライドマスターを活用してのスライド作成や図形画像を挿入しながらのチラシ作成など、パワーポイントを使いながら2時間学びました。インストラクター(MCT)樋口淑美先生のスライドを使った分かり易い説明、限られた時間の中で受講された皆さんからの質問にも丁寧に対応していただき大変勉強になりました。

実際に操作をしてみても思ったのは、パワーポイン

トもワードも操作画面などは似通っていますが、パワーポイントはスライドショーをすることができ、デザイン素材やアニメーション素材・効果などを活用することで動きのある資料をつくることができるということです。画像やアニメーションを取り入れるだけでこんなにもイメージが変わるものなんですね、改めて実感しました。

ただ今回セミナーに参加して一番驚いたのは、意外に簡単に「パワーポイントでチラシが作れる!」ということでした。「Power Point」これからの仕事に役立てていきたいと思います。



『いばらき低炭素社会実現研究会』

県央支部 篠根 玲子

【研究会の設立趣旨】

エネルギー生産・供給、施設・設備・建物整備、まち・むらづくり、地域経済活性化、消費・生活様式などに関わる多様で体系的な低炭素化社会に向けた取り組みを多分野連携で推進することが求められます。科学技術に卓越し、豊かな自然環境に恵まれた県であるという特徴を活かし、低炭素社会構築に向けた画期的なブレークスルーの具体例を「いばらき」から発信することを目的に『いばらき低炭素社会実現研究会』は2017年8月に設立されました。

研究会の構成メンバーは川上美智子茨城キリスト教大学名誉教授、小林久茨城大学教授、笹田政克産業技術総合研究所名誉リサーチャー他、建築(建築士会・建築士事務所協会・設備設計事務所協会)、都市計画、運輸、食品、金融などの関係団体や個人です。

【これまでの活動】

2017年 8月 8日 設立総会／設立記念講演会
(講演者 三村信男氏(茨城大学学長))

・演題:『気候変動問題への新しい対応の展望』

2018年 3月25日 田町スマエネパーク見学

2018年10月23日 環境セミナー(講師 環境省
地球環境局地球温暖化対策課)

・演題:環境省の低炭素・脱炭素推進事業を学ぶ
ー2018～2019年度の政策と予算ー

2018年12月3日、4日 先進地視察(岩手県紫波
郡紫波町の「オガールプロジェクト」)

・循環型まちづくり、低炭素型住宅への取組みなど
の講義・視察

研究会では現在次の3部会を立ち上げて活動を
始めています。

1. 再生可能エネルギーマネジング部会

・県内の再生可能エネルギー(県北地域の小水力
等)開発事業の計画～実施プロセスをたどること
で、再生可能エネルギー開発事業のマネジング業
務が実施できる技術・ノウハウを取得し、体制を整
備する

2. 低炭素建築物いばらきモデル部会

・建築物の低炭素化についての検討を進め、実現・
普及可能な「いばらきモデル」をかたちづくる

・低炭素建築物についての検討を深め普及促進お
よび啓発に寄与する

・商品化や助成金の獲得など具体的ビジネスにつ
ながることを方向性とする

3. 低炭素農業研究部会

・低炭素型農業のあり方、持続可能な方法や具体
例を構築し、ビジネスモデルと雇用増大を検討する



視察地(オガール紫波)



設計・監理業務等のリスクに備えた 建築士会会員のための補償制度

会員
限定

建築士賠償責任 補償制度 (けんばい)

改正建築士法、2015年6月25日施行 「設計業務等に関する損害賠償保険の契約締結の 努力義務化(第24条の9)」

2014年度より、「法令基準未達補償」および「構造基準未達補償」の2つの補償を追加し、「滅失・破損」が発生しない場合でも一定の基準を満たさなかったために生じる損害賠償責任に対応できるように改定いたしました。

さらに、2016年度からは、耐震診断等の建物調査の遂行に起因して発生した対人・対物事故を補償する「建物調査遂行中の賠償責任補償」を、オプションとして追加しています。

設計・監理業務等に関する損害賠償責任	滅失・破損あり	↑ 2013年度までのけんばい ↓	↑ 本年度の標準セットプラン ↓
	滅失・破損なし		
	建築設備が著しく本来の機能を発揮できない場合の補償 (給排水衛生設備、電気設備、空調設備、住宅の遮音性能) 法令基準未達補償 2014年改定 ※補償対象外とすることも可能です。		
構造基準未達補償 2014年改定			オプション
建物調査遂行中の賠償責任補償 2016年改定			オプション

● 法令基準未達補償

建築物の外形的かつ物理的な滅失または破損が無い場合でも、「所定の建築基準関連法令における基準」を満たさないことについての損害賠償責任を補償します。

● 構造基準未達補償

建築物の外形的かつ物理的な滅失または破損が無い場合でも、「建築基準法第20条1、2、3号建築物の構造基準」を満たさないことについての損害賠償責任を補償します。

● 建物調査遂行中の賠償責任補償

耐震診断等の建物調査業務の遂行に起因して発生した対人・対物事故について、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害を補償します。
ただし、建物調査業務の結果により発生した事故は補償の対象外となります。

ご加入はWebで

公益社団法人日本建築士会連合会
のホームページ

➡ 保険制度

➡ 2018年度けんばい 新規加入の方。

このチラシは建築士賠償責任補償制度(けんばい)の概要についてご紹介したものです。保険の内容は建築士賠償責任補償制度のパンフレットをご覧ください。詳細は保険約款によりますがご不明の点がありましたら、下記までご連絡ください。なお、保険の内容につきましては、取扱保険代理店よりご案内させていただきます。

皆さまの合格実績に支えられ、おかげさまで50周年

since 1969



結

努力を結果に結びつける

1級建築士 合格実績
No.1

1983~2017年 合格者累計
 日建学院 1級建築士
113,712人
全国累計1級建築士 197,391人*
 当学院合格者の
 1級建築士占有率
57.6%
 この35年間の1級建築士の
 半分以上が
 日建学院出身者です。
 2級建築士 173,239人
*1980~2017年累計
 宅地建物取引士 102,328人
*1978~2017年累計

*上記全国累計は(公・財)建築技術教育普及センター発表試験結果(1983~2017年)のデータです。

あなたの夢、応援します。

日建学院

★建築士会特別割引特典あり!お気軽に最寄校へご連絡下さい★

水戸校

駐車場完備

〒310-0852 水戸市笠原町978-27 IPICビル3F

TEL. 029-305-5433

FAX .029-241-5128

つくば校

研究学園駅より徒歩3分

〒305-0817 茨城県つくば市研究学園5-1-4 高谷ビル3F

TEL. 029-863-1166

FAX .029-859-5369

成田校

駐車場完備

〒286-0045 千葉県 成田市 並木町221-16

TEL. 0476-22-8011

FAX .0476-22-8021

日建学院コールセンター ☎ **0120-243-229**

株式会社建築資料研究社 東京都豊島区池袋2-50-1 受付/AM10:00~PM6:00(土・日・祝日は除きます)



信頼と安心の住まいを目指す 一般財団法人茨城県建築センター

住まいづくりに関する手続きを一元的に扱っています。
迅速な対応とともに、サービスの提供として次のことを行っています。

- ☆ **「WEB申請」**を行っております。
- ☆ 当センターのご利用の多いユーザーには
「建築確認手数料の後納制度」があります。
- ☆ **「レターバック等にて確認申請」**を受付けております。
確認引受書と併せて新しいレターバックを返却させていただきます。

1 建築確認・検査業務

業務の範囲

- 全ての建築物の確認（ルート2審査対応）、中間検査及び完了検査
- 建築設備、工作物の確認及び完了検査
- 仮使用の認定手続き

完了検査率アップ！
検査済証は適法建築物の証です。

2 住宅瑕疵担保責任保険業務

- まもりすまい保険（統括事務機関）住宅保証機構株
- あんしん住宅瑕疵保険（取次店）株式会社あんしん保証
- JIOわが家の保険（取次店）株式会社日本住宅保証検査機構
- ハウスプラスすまい保険（取次店）ハウスプラス住宅保証株

3 フラット35適合証明業務

- 住宅金融支援機構の融資住宅による設計審査・現場審査業務

4 住宅性能評価業務

住宅性能評価制度のメリット

- 住宅の性能の相互比較が出来ます
- 設計どおりの施工がされるよう第三者機関（当センター等）による検査が受けられます
- 円滑・迅速で専門的な紛争処理が受けられます

5 長期優良住宅技術的審査業務

6 低炭素建築物技術的審査業務

7 BELS 評価業務

8 省エネ適合性判定業務

9 省エネ関連技術的審査業務

10 構造計算適合性判定業務

11 建築技術の啓発・情報提供業務

- 住宅・建築に関する相談のできるコーナーを本部及び県南事務所に設けています
- 毎週第1・第3土曜日10:00～16:00(12:00～13:00 昼休み)



<http://www.ibakenju.or.jp/>



一般財団法人茨城県建築センター ※営業時間/午前9時～午後6時まで（第2・4・6土曜及び日・祝日を除く）

お問い合わせ

■本部事務所（水戸市）
〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978-30
TEL.029-305-7300 FAX.029-305-7310

■県南事務所（つくば市）
〒305-0036 茨城県つくば市松代1-18-1
TEL.029-860-8088 FAX.029-860-8090

■県西事務所（古河市）
〒306-0125 茨城県古河市仁連1921-4
TEL.0280-75-2600 FAX.0280-75-2603

一般社団法人 茨城県建築士会 会員の皆様へ

迎春

新春を迎え、平素のご厚情に深くお礼を申し上げますとともに
会員の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。
本年もどうぞ宜しくお願ひいたします。

平成31年 1月

一般財団法人 茨城県建築センター

会長 柴 和伸
職員一同

2016~2018



SHIBA
ARCHITECT
OFFICE

株式会社 柴建築設計事務所

水戸市泉町 3-1-28 第二中央ビル 7 階
TEL 029 (227) 0222
FAX 029 (231) 0960

<http://www.shiba-arc.co.jp/>



一般社団法人

茨城県建築士会